

研究成果物等活用状況調査報告

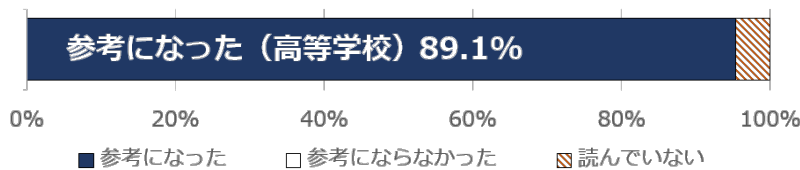
令和3年度 研究成果物等活用状況調査について

神奈川県立総合教育センターでは、今日的な教育課題について、学校現場での活用を目的に、実践的な調査・研究を実施しています。研究成果は研究成果物等としてまとめ、県内の学校に配付し、普及を図っています。

ここでは、県内の小・中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に御協力いただいて実施した、各校での活用状況についての調査結果をまとめました。今後の研究成果物等の活用につなげていただければと思います。

研究成果物の活用状況

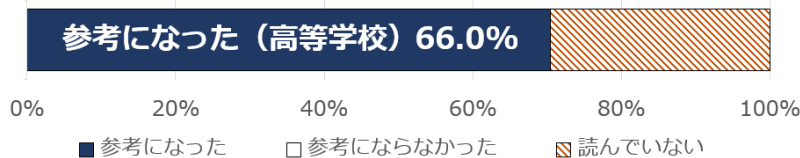
高等学校初任者のための授業づくりガイド 令和3年度版



対象校種ではないが、初任者が授業を行う上で大切な視点が多く盛り込まれていて参考になった。(小)

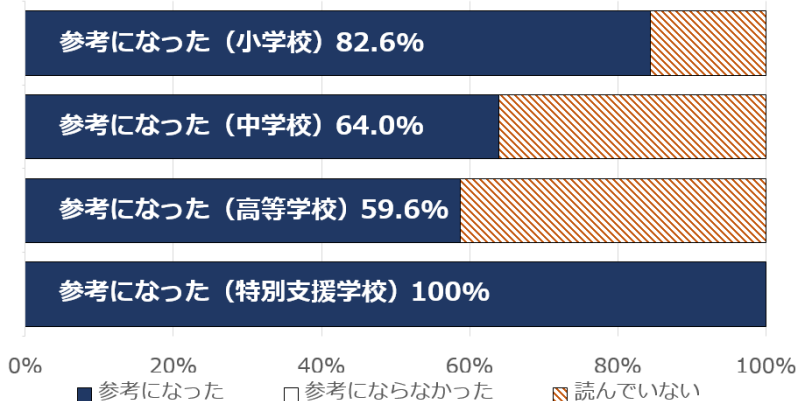
この冊子を一度精読すれば、授業の方法が身につくと感じた。本来の対象者は初任者だが、経験のある教員の研修の教材としても有用だと感じている。(高)

【高等学校】探究活動をすすめよう！～「探究のプロセス」と「校内体制づくり」の充実を通して～



探究のプロセスに関する取組の実例や、校内研修会、校内研究授業等について詳細が示され、校内での探究学習の進め方について参考になった。(高)

支援を必要とする児童・生徒の教育のために 令和2年3月版



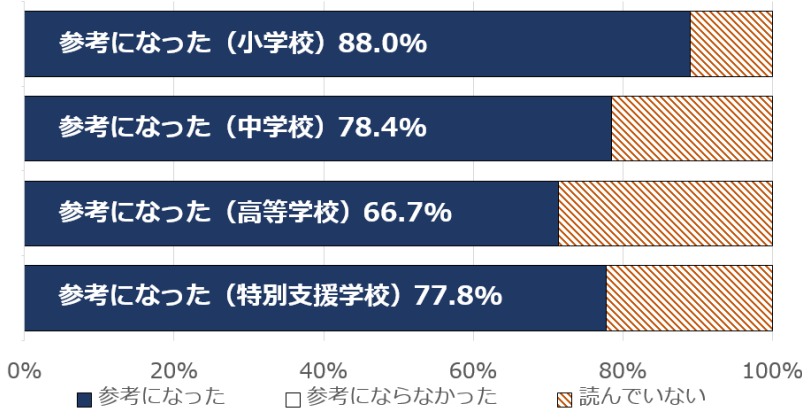
一人一人の違いを認めながら指導と支援のバランスをとっていくことの大切さを理解できる。また、資料編が充実しており、支援教育の歩み、用語解説などで研修受講後の振り返りや、専門的知識を得るために幅広く活用することができる。(小)

さまざまな場面で合理的配慮を求められることが多くなったこともあり、関係職員で研修を行った。基本的な考え方や用語の理解、校内支援体制づくり等の参考にさせていただいた。(中)

これらの研究成果物等は、総合教育センターウェブサイトのトップから、「研究紹介・成果物について」→「研究成果物等刊行物」へ進むと、ダウンロードが可能です！



インクルーシブな学校づくり Ver.3.0



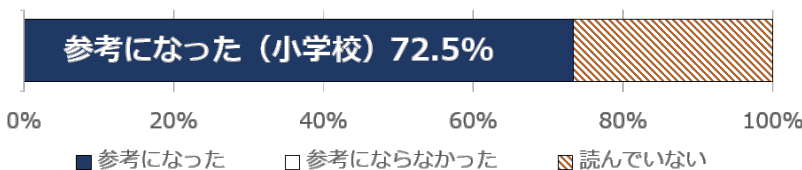
インクルーシブ教育校内支援体制整備・推進に向けての職員研修で資料として使用した。(小)

インクルーシブ教育に興味を示している保護者・生徒への説明の参考にした。(中)

実践推進校でなくても、教室の環境整備、授業改善や教育相談、地域との連携など多方面での取組の参考になった。(高)

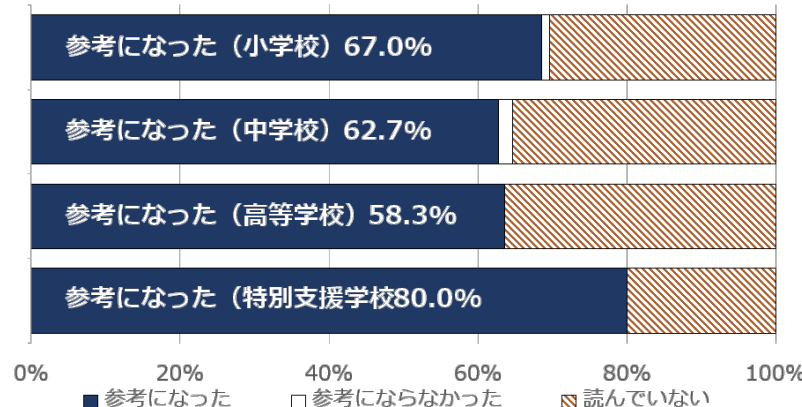
子どもを「チームで支援する」「学級づくり」「学校づくり」等、わかりやすく示されており、県の推進する「インクルーシブ教育」の理解に役立った。(特)

小学校の先生のための体育科授業づくりハンドブック～授業設計力向上に向けて～



3つの資質・能力や主体的・対話的で深い学びについて、体育科での例が具体的に示されるなど、学習指導要領改訂のポイントがわかりやすくまとめられていて、授業計画の参考になった。(小)

実感につなげよう！今、求められる授業改善 Ver.2

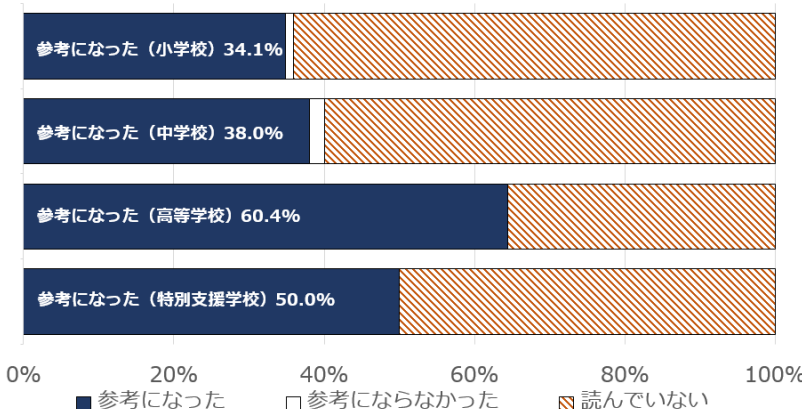


学校全体の取り組みの体制作りについてわかりやすく説明されており、とくにQ&Aは参考になった。(小)

校内研究担当者との打合せにおいて、今年度の研究の方向性や具体的な取り組みを考える上で参考にさせていただいた。(中)

授業改善を行うためのプロセスが丁寧に説明されているため参考になった。写真によって具体的な方法が挙げられているため、すぐにかけると感じた。(特)

令和2年度 研究集録 第40集の活用状況



小学校籍の約半数、中・高の教員の約8割がプログラミング教育の「ねらいや目的」について「あまり知らない」「全く知らない」との回答に対して、プログラミング教育の推進をどのように試みているのか等、参考になりました。(高)

学習評価に関する研究の学習評価の課題については、学習評価を検討する際や、授業研究を行う際に参考にした。(高)

「総合的な探究の時間」の実践例等が参考になった。(高)

いただいた御意見を参考に、総合教育センターでは、今後も、授業改善、人材育成、児童・生徒理解、支援教育など、学校のニーズに合わせた研究成果の発信に努め、「かながわの学び」を支援してまいります。

